

# 札幌らしい交通環境学習の取組み

## 背景・目的

公共交通を賢く使うことが、札幌の豊かな自然環境を維持するためにとても大切な役割を果たす。  
 → 初等教育から効果的に学ばせるために、教材・授業プログラム等を開発し、札幌市内の小中学校で広く実践されることを目指す。

## 札幌市の取組みポイント

- MM教育を札幌市の小中学校全体に拡大するには、出前講座形式では限界がある。  
**教諭主体の授業実践!**
- 各学年でMM教育を実践することにより、効果はより確かなものになる。  
**各学年を対象に実施!**
- 「過度な自動車利用を抑制・公共交通の利用拡大」を願う団体が連携を実施することで、より効果的・効率的に学校を支援可能になる。  
**関係機関の連携を重視!**

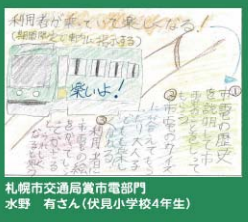
全学年で実践!  
 29本

## 研究事業の蓄積・教諭が主体となった授業の実践

実施時期	学校	学年	教科	担当教諭	授業内容
H23年度(3学期)	屯田小	5年生	社会	斉藤健一	暮らしを支える情報
H24年度(1学期)	手稲宮丘小	5年生	総合	牧野宣英	環境について考えよう
H24年度(1学期)	山の手南小	5年生	総合	栗原聡太郎	環境HOT COM
H24年度(2学期)	本通小	3年生	社会	河崎一貴	もっと知りたいみんなのまち
H24年度(2学期)	屯田小	6年生	社会	斉藤健一	暮らしの中の政治
H25年度(1学期)	山の手南小	4年生	総合	佐野浩志	身近なバスと私たちの暮らし
H25年度(1学期)	山の手南小	6年生	社会	栗原聡太郎	暮らしの中の政治
H25年度(2学期)	福住小	3年生	社会	河崎一貴	わたしたちの市のようす
H25年度(2学期)	山鼻南小	4年生	総合	高橋浩史	わたしたちの暮らしと市電
H25年度(2学期)	本通小	4年生	総合	河崎一貴	わたしたちの暮らしと公共交通
H25年度(2学期)	屯田小	3年生	社会	斉藤健一	昔の道具とくらし
H25年度(2学期)	手稲宮丘小	6年生	社会	牧野宣英	暮らしの中の政治
H25年度(3学期)	三角山小	1年生	道徳	内藤広大	でんしゃのトリー
H26年度(2学期)	横西小	3年生	社会	伊藤健太郎	昔の道具とくらし
H26年度(2学期)	手稲宮丘小	3年生	社会	牧野宣英	昔の道具とくらし
H26年度(3学期)	三角山小	2年生	生活	内藤広大	スノーランド
H26年度(3学期)	日新小	5年生	社会	玉山山補	生活環境を守る
H27年度(1学期)	手稲宮丘小	3年生	社会	牧野宣英	かわってきた人々の暮らし
H27年度(2学期)	横西小	3年生	社会	伊藤健太郎	かわってきた人々の暮らし
H27年度(2学期)	山鼻南小	5年生	社会	高橋浩史	情報化した社会とわたしたちの生活
H27年度(2学期)	伏見小	6年生	社会	斉藤健一	みんなの願いを実現する政治
H28年度(1学期)	西野第二小	3年生	社会	河崎一貴	わたしたちのまち みんなのまち
H28年度(1学期)	福住小	3年生	社会	大矢健美	もっと知りたいみんなのまち
H28年度(1学期)	教育大附属小	3年生	社会	河崎一貴	わたしたちの市のようす
H28年度(3学期)	緑丘小	5年生	社会	石本歩	情報産業とわたしたちの暮らし
H28年度(3学期)	信濃小	6年生	社会	黒田健太	世界の未来と日本の役割
H29年度(2学期)	教育大附属小	3年生	社会	徳渡剛志	市の様子と移り変わり
H29年度(2学期)	資生館小	5年生	社会	宮崎世司	環境を守るわたしたち
H29年度(3学期)	英園小	5年生	社会	藤井幸佳	環境を守るわたしたち

## 本プロジェクトの目標とそれに対応した実施結果

目標	実施・検討内容等
目標① 学習指導要領と連動した学習プログラムの開発	・教諭を主体とするワーキンググループを設置し、学習プログラムを検討 ・研究授業の蓄積 ↳ 全学年において研究授業実践! ※3年生以上は、各学年3回以上の実績 (1年生:1校、2年生:1校、3年生:11校、4年生:3校、5年生:8校、6年生:5校)
目標② 1年生～6年生まで、各学年におけるMM教育の実施	・教諭が主体となった授業の実践 [平成23年度] 札幌市立屯田小学校:斉藤健一 [平成24年度] 札幌市立手稲宮丘小学校:牧野宣英、札幌市立山の手南小学校:栗原聡太郎、札幌市立本通小学校:河崎一貴、札幌市立屯田小学校:斉藤健一、札幌市立山の手南小学校:佐野浩志、栗原聡太郎、札幌市立福住小学校:河崎一貴、札幌市立山鼻南小学校:高橋浩史、札幌市立本通小学校:河崎一貴、札幌市立伏見小学校:河崎一貴、札幌市立三角山小学校:内藤広大 [平成25年度] 札幌市立手稲宮丘小学校:牧野宣英、札幌市立横西小学校:伊藤健太郎、札幌市立山鼻南小学校:高橋浩史、札幌市立伏見小学校:斉藤健一、札幌市立西野第二小学校:河崎一貴、札幌市立緑丘小学校:大矢健美、北海道教育大学附属札幌小学校:河崎一貴、札幌市立信濃小学校:徳渡剛志、札幌市立資生館小学校:宮崎世司、北海道教育大学附属小中学校:徳渡剛志、札幌市立英園小学校:藤井幸佳
目標③ 教諭が主体となった授業の実践	・指導案集の作成・副読本の改訂、配布・教師向け指導書の配布 ・webプラットフォームによる情報提供 ・教諭を対象とした「札幌らしい交通環境学習フォーラム」の開催
目標④ 札幌市内小中学校へのMM教育の広がり	・協働体制の構築に向けた検討 ↳ こども環境情報誌「エコチル」と連携した札幌市の公共交通について考える作文コンテストを平成24・25年度に実施、平成26～29年度には、公共交通アイデアコンテストを交通事業者とも連携し開催。
目標⑤ 関係団体等の連携体制の構築	



## プロジェクトの検討・推進体制

平成23年度プロジェクト発足時の検討・推進体制  
**学識経験者**  
 委員長:高野 伸栄 教授(北海道大学)、谷口 綾子 准教授(筑波大学)  
**行政関係**  
 ・北海道運輸局 ・北海道開発局  
 ・札幌市交通局 ・札幌市総合交通計画部(事務局)  
**関係団体**  
 ・札幌地区バス協会  
 ・(財)北海道環境財団  
 ・「地域と教育」を元気にするフォーラム  
 ・(株)アドバコム  
**学校関係**  
 ・札幌市教育委員会  
 ・札幌市立小中学校教諭(校長2名・教諭9名)



WGは、26年度から学校関係者を中心としたプロジェクトチームとして体制を継続!

## 学習プログラムの開発

**【目的】**  
 ・MM教育を小中学校において教諭主体で実施  
 ・MM教育を札幌市小中学校全体に広める  
 ・MM教育を誰でも実践できるようにする

**【方法】**  
 ・研究授業を数多く実践し、カリキュラム構築  
 ・学習指導要領に準じ、単元に沿った副読本を作成  
 ・副読本を活用した授業方法がわかる指導書を作成

**【留意点】**  
 ・MM教育を広めるために、「小中学校で実践しやすいカリキュラム」を構築

対応 3年生社会科  
 「もっと知りたいみんなのまち」・「さぐってみよう昔のくらし」

【副読本】(A4判、4C、12P)

【教師向け指導書】(A4判、4C、12P)

【指導案】

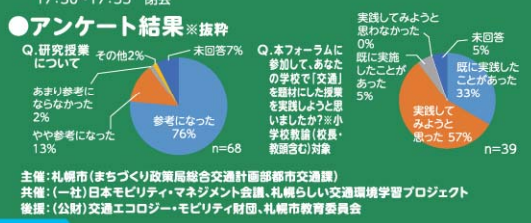
## 札幌らしい交通環境学習フォーラム

●開催日時/2017年8月28日(月)13:00~17:35  
 ●開催場所/札幌コンベンションセンター  
 ●対象/小中学校教諭、行政、他  
 ●参加数/148名  
 ●プログラム

13:00~13:05 開会  
 13:05~13:20 概要発表「小中学校における札幌らしい交通環境学習について」  
 13:20~13:30 授業実践例の発表①・5年生/宮崎 世司 教諭(札幌市立資生館小学校)  
 13:30~13:40 授業実践例の発表②・6年生/黒田 健太 教諭(札幌市立信濃小学校)  
 13:50~14:35 研究授業  
 [3年生/社会科 単元:市の様子の移り変わり]  
 徳渡 剛志 教諭(北海道教育大学附属札幌小学校)  
 研究授業・授業実践例の発表に対する意見交換  
 [進行]松尾 明 校長(札幌市立本通小学校)  
 [助言者]牧野 宣英 指導主事(札幌市教育委員会)  
 [提案者]河原 秀樹 教諭(北海道教育大学附属札幌小学校)  
 基調講演「新学習指導要領全面実施に向けて」  
 文部科学省初等中等教育局 視学官 澤井 隆介 氏

14:45~15:25 パネルディスカッション  
 「新学習指導要領とこれからのモビリティ・マネジメント教育」  
 ~教育と交通の手のつなげ方~  
 [コーディネータ]新保 元康 校長(札幌市立屯田小学校)  
 [パネリスト]澤井 隆介 氏(前掲)  
 岡本 英晃 氏(公財)交通エコロジー・モビリティ財団(課長)  
 牧野 宣英 氏(札幌市教育委員会 学校教育課長兼初等中等教育局長兼事務局)  
 佐藤 格郎 氏(札幌市まちづくり政策局総合交通計画部 都市交通課 都市交通係)

17:30~17:35 閉会



## こども環境情報誌「エコチル」で「みんなで考える公共交通アイデアコンテスト」

●札幌市では、「札幌らしい交通環境学習」を、将来的に、札幌市内の全小中学校で実施することを見据え、平成23年度から活動を展開。  
 ●平成24年度からこども環境情報誌「エコチル」によるMMを展開。従来、児童ヘアローチを行うMMは行政や教育委員会が主導となるものが多く、本取り組みは民間主導で実施されたもの。

応募数 774作品!

\*エコチルで募集・報告:  
 2017年11月号:募集記事掲載2018年3月号:審査結果掲載

【発行】(株)アドバコムが2006年にスタート  
 ●全道公立小1060校の小中学校で毎月無料配布(発行部数:25万部)  
 ●仕様:タブロイド判(全4色、8~20ページ立て)  
 ●内容:環境についての特約や、各学校で取り組まれている環境教育の紹介等、こども達が楽しく環境活動を学べるような紙面作りを行う。

## 本プロジェクトの成果と今後の展開

- 【本プロジェクトの成果】
- 全学年で公共交通に関する指導案を立案
  - 教諭が主体となった授業の実践
  - フォーラム等を通じ、認知度も徐々に向上
  - 協働体制の構築
  - 札幌市HPで授業用の素材データを提供
- 平成26年度改訂「教育課程編成の手引き」(札幌市教育委員会発行)にMM教育の指導案が掲載!
- 3年生社会科の副読本「私たちの暮らしを支える公共交通」を全小中学校へ配布!
- 3年生社会科の副読本「私たちの暮らしを支える公共交通」の教師向け指導書を全小中学校へ配布!
- 【今後の展開】
- 教諭が授業づくりをしやすい環境をつくるため、札幌市HPにて、学習用のデータやグラフ、写真等を継続して提供
  - 新学習指導要領の改訂に合わせて、副読本・指導書の改訂を検討し、平成32年度からの配布を目指す
  - 授業実施校の拡大